

## オルガノン要約 § 43～ § 53

§ 43 二つの類似した病気が同じ身体に発症した場合、結果はまったく異なる。

自然の経過において治癒はどのように起こるのか、人間によってどのように治療されるべきなのかを示していこう。

§ 44 二つの非常に類似した病気は、互いに寄せ付け合う。相手の進行を妨げることなく止めることもない。同様に、同じ身体で並存することもなく、二重になって複雑化することもない。

§ 45 類似した病気は、必ずどんな場合でも互いに根絶しあう。要するにより強い病気はより弱い病気を駆逐する。

これは強い病気が、弱い病気が占拠しているのと同じ部位を要求するからだと推測される。

§ 46 自然の病気の中でも天然痘は際立って類似の法則にしたがって多くの病気を取り払い治療する。

天然痘、牛痘、麻疹のそれぞれが、類似した病気を克服する事例多数。

§ 47 医師がどんな種類のレメディを選ばなければならないかは、§ 46 で述べたことよりも明白なものはない。

§ 48 自然の病気であろうと、レメディであろうと、病気に対して類似していて、且つ少し強いだけで治癒させることができる。＝「自然法則」

§ 49 ホメオパシー的に治療する病気が自然界にもっとあれば、本物の自然治癒の例をもっと見ることができただろう。

§ 50 ホメオパシー的に利用できる自然界の病気は、乾癬、麻疹、天然痘のようなものだけである。しかしこれらをホメオパシー的に使用することは難しく、むしろ危険ですらある。自然の病気はレメディと違って、投与量を微量にすることはできないからである。

§ 51 自然の病気による治癒は偶然だが、人間は多くの医薬物質からそれらを利用できる。

全ての自然の病気に対してレメディは可能な限り様々に作用する。

レメディのエネルギーは治療が終わったあとには生命エネルギーによって打ち負かされ、おのずから消失する。医師は医薬物質をポータンタイズし、病よりもほんの少し強くなる程度まで投与量を減らすことができる。

§ 52 主な治療法は二つだけである。ホメオパシーとアロパシー（ヘテロパシー）

- ・ホメオパシー：慎重な実験と純粋な経験だけに基づくもの。
  - ・アロパシー、ヘテロパシー：ホメオパシーとは正反対で治癒とは無関係のもの。
- これらは結合することはもとより、近づくことさえできない。

§ 53 純粋にホメオパシーだけを用いる治療法が唯一正しい。ホメオパシーは最も一貫した、まっすぐで唯一の治療法である。

ホメオパシーによってのみ、最も確実に、速やかに、持続的な・・・理想的な治癒を達成できる。

(以上)